

パソコン(スマホ)とWi-Fiルーターの接続方法

底の部分に記載されている SSIDとKEYをメモります。

SSID (5GHz):	Buffalo-A-XXXX
SSID (2.4GHz):	Buffalo-G-XXXX
暗号化キー:	XXXXXXXXXXXXXX



パソコン画面の右下のアンテナバーをクリックします。
(スマホは、設定/歯車のWi-Fiを選択します。)



メモったSSIDと同じ表示のものをクリックして接続します。
途中で、パスワード入力を要求されたら、メモったKEYを入力します。
しばらくして、アンテナバーの黄色い星が消えると、Wi-Fi親機と接続完了

※SSIDに-Aと-Gがあります。

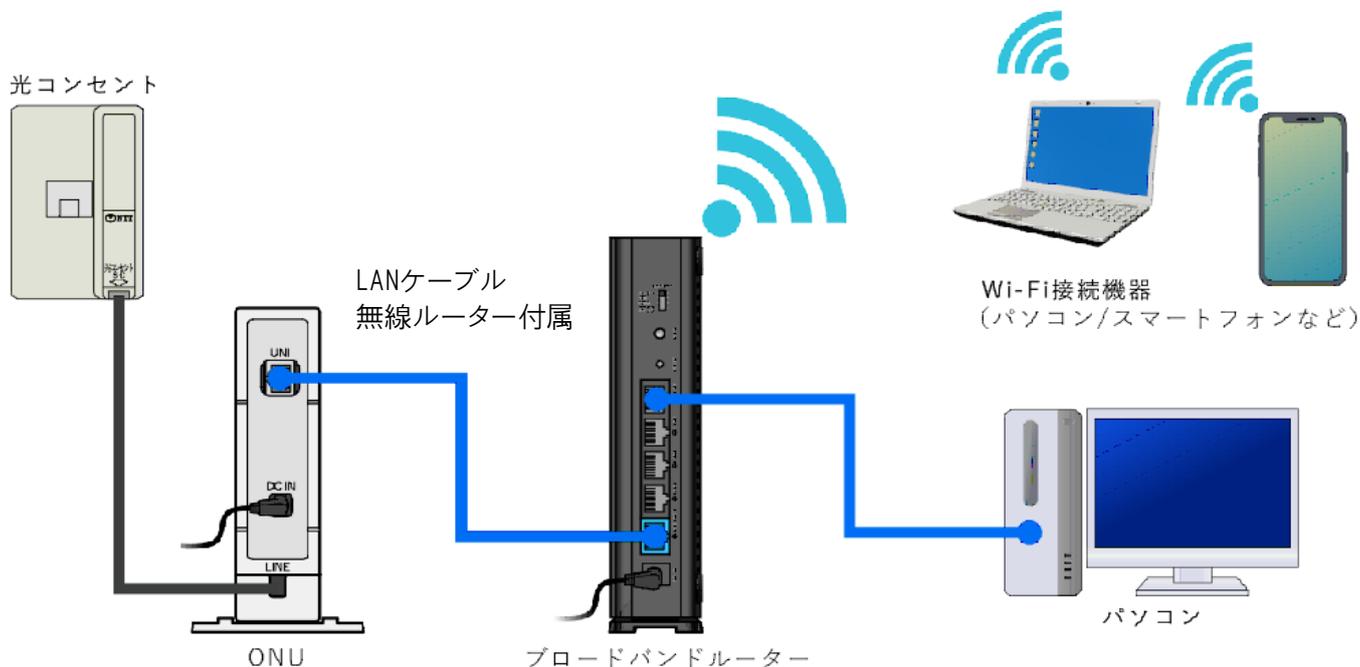
- Aは、Wi-Fi専用
- Gは、ブルーーツルースや電子レンジ等と同じ周波数
- Gは、遠くまで飛ぶ傾向がありますが、電波強度が同じくらいであれば混信の無い-Aを選択してください。



パソコンにLANの口があれば、LANケーブルで接続される事をお勧めします。
(Wi-Fi親機背面LAN1~3)

Wi-Fiの電波(信号)は、セキュリティー信号も送付されていて、LAN接続に比べてスピードが1/2~1/3程度遅くなります。





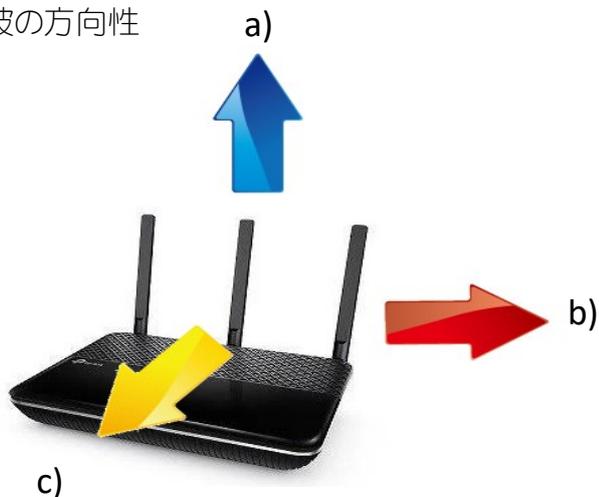
onuとwi-Fi無線ルーターを接続して、30分余りお待ちください。
 起動当初は、一部のホームページ閲覧が不可です。
 徐々に、色々なホームページの閲覧が可能となります。

Wi-Fiの電波は、G(2.4GHz帯)とA(5GHz帯)の2つ出ています。

周波数帯	G 2.4GHz帯	A 5GHz帯
メリット	5GHzよりも電波が遠くまで届く	他の無線との干渉が少ないため、通信が安定している
デメリット	同じ周波数帯の機器 (Wi-Fiルーター、電子レンジ、Bluetooth、電話機など) が多く存在するため、電波干渉しやすく、通信が不安定になりやすい	壁や天井などの障害物に弱い 通信距離が長くなると電波が弱くなる

G(2.4GHz帯)とA(5GHz帯)の電波の信号強度が同じだったら、Aを選択されると良いでしょう。(別紙の通り)

電波の方向性



- a) 上(青)方向は、アンテナが点に見えるため信号強度は弱い
- b) 横(赤)方向は、アンテナが1本に見えるため、信号強度はそれなり
- c) 正面(黄)は、アンテナが3本に見え信号強度は他方向に比べて強力

Wi-Fiの設置位置とパソコンなどの端末の位置を考えて、アンテナを稼働されると良いでしょう。

※電波の電力は、電波法に基づいていますので、全てのWi-Fi装置は一律です。

※部中の5Gは電波の周波数であり、巷で云われる5G(5generation)とは異なります。